

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年2月12日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873900450		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム たまり	ユニット名	東
所在地	〒311-3434 茨城県小美玉市栗又四ケ2284-1		
自己評価作成日	平成21年9月2日	評価結果 市町村受理日	平成22年2月8日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年10月23日	評価確定日	平成22年1月27日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>庭先には、2匹のわんちゃんを飼っていて何処の棟からもふれあう事が出来る。 また、庭園には季節の野菜をつくり食を楽しんでいる。 職員は、個性的なエプロンをつけ、常に明るいホームになるよう心がけている。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>管理者と職員は利用者の主体性を尊重したケアを実践している。 ホームの行事予定を地域で回覧してもらい、地域の人々が参加して利用者と交流している。 災害時に地域の人々の協力が得られるほか、収穫した野菜を届けて貰うなど親しい関係を築いている。 運営推進会議では地域の人々に交代で委員になってもらい、地域の情報や助言、意見を得ている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	正信会としての理念を共有、意識づけしていくために日々話し合い実践へつなげている。	運営法人の理念を玄関や共用空間に掲示するとともに、朝礼時に全職員で唱和し共有して実践に努めている。	運営法人の理念のままでなく、管理者や全職員で話し合い独自の理念を作成し、実践することを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	積極的の声かけ、挨拶をしている。 行事等の呼びかけ 運営推進委員会を設置し、地域の代表者との意見を伺い交流している。	町内会に加入していないがホームの行事を町内に回覧し、ひな祭りや七夕などに地域の人々が子どもと共に参加している。 近くの教会が送迎車を用意し、利用者をクリスマス会に招待してくれる。 ボランティアを受け入れたり、近隣の方々から野菜のお裾分けがあるなど、利用者は地域の一員として日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	推進委員会を通じて、認知症利用者への理解や接し方などを伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議より意見を頂き、それらをサービス向上に向け、努力しているが、まだ、具体的な効果は得られていない。	運営推進会議は家族等の代表や地域住民、市職員、運営法人職員、ホーム職員で2ヶ月に1回開催している。 地域住民は固定メンバーでなく常に4名参加している。 委員から地域の情報や意見、助言を得て双方向的な会議になるように配慮している。 会議はホームの行事と一緒に開催する場合があります、委員は利用者と共に行事に参加し、出た感想や意見等をサービスの質の向上に活かしている。	ホーム行事に来訪した家族等に依頼し運営推進会議に出席してもらっているが、事前に会議の予定を知らせたり、議事録が閲覧できることを家族等に周知する取り組みを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村等からの連絡事項を利用者家族へ逐次報告することで、市町村との協力関係が築けるよう努力している。	市担当者に利用者の暮らしぶりやニーズを伝えるとともに、処遇困難な利用者への対応を相談している。 市担当者に運営推進会議に積極的に出席してもらい、日頃から運営に関するアドバイスをもらうなどで市と連携を深めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての知識を共有し、身体拘束のないケアに取り組んでいる。	職員は研修や話し合いなどで身体拘束の内容とその弊害を認識するとともに、利用者に「待って」と言うことも拘束と捉え話し合っている。 玄関は施錠せず利用者の安全を確保しつつ抑圧感のない自由な暮らしをするための工夫をしている。 現在は感染症予防のために一時的に施錠しているが、来訪者があった時に開錠し、職員付き添いのもと手の消毒をしてから各ユニットに入ってもらっている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	朝礼時及び適時な機会において、個々に虐待防止法を教育することによって、職員一人一人の意識を高め、虐待の防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ミーティング等の機会を設けて、個々に話し合いをすることで、理解を高めるように努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者家族への十分な説明を実施し、契約内容への不満、疑問等を完全に解消し、納得して頂いたうえで、契約して頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「ご意見箱」を設置している。また、「苦情記録ノート」を作成し、適時、内容について職員全員で話し合い、改善方法等を検討している。	職員は日々の係わりの中で利用者の意見を聞くよう努めるとともに、家族等からは訪問時や電話で意見等を出してもらえるような関係づくりに努め、出た意見等は運営推進会議で検討し運営に反映させている。 ユニットごとの玄関に意見箱を設置するとともに、重要事項説明書に事業所や第三者機関の苦情相談受付窓口を明記し契約時に説明している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	意見収集のため、適時、職員間でミーティング等を実施し、グループホーム全体会議に反映させている。	職員は毎日の申し送り時や毎月の会議で提案や改善すべき点などを出すとともに、管理者は出た意見等を運営に反映させている。 管理者は会議以外にも職員が常に意見を出し易いよう配慮している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員一人一人の仕事に対する責任感及び向上心を育むことで、やりがいのある職場環境作りに心がけている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の各種研修等参加を勤務調整等にて積極的に支援している。また、研修等参加者には、事後の発表等を実施してもらい、全職員へ研修内容を普及している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	現状は、実施していないが、他のグループホーム等との交流の場を設けたいと考えている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者本人の気持ちを受け止め、本人の声に耳を傾けながら、本人が安心できる関係が構築出来るように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者家族の気持ちを受け止め、家族の声に耳を傾けながら、家族が安心できる関係が構築出来るように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談等を真摯に受け止め、利用者が段階的に施設へ馴染み、安心して生活できるように支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者と職員が共に時間を過ごす中で、利用者の体験談等を聞く機会を積極的に設け、共同生活者同士であるという意識を高めるように努力している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の外出・外泊の支援は、積極的に実施している。また、利用者本人が何らかの不安を感じている場合は、家族に訪問してもらったり、電話をしていただいたりして、離れて暮らしていても家族の絆を感じられるよう支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会者の制限を設けず、利用者本人の旧友や知人等が、いつでも気軽に来て頂けるような雰囲気及び職場環境作りに心がけている。	職員は利用者の生活習慣やこれまで培ってきた人や場所との関係の把握に努めている。 利用者は家族等と共に馴染みの場所を訪問している。 職員は利用者の思いを家族等に伝え、利用者の知人がホームに来訪できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	各利用者の性格等を把握し、利用者同士が、共に助け合い支え合って暮らしていけるように、職員全体で積極的に支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設へ移動されてからも、家族の方が気軽に立ち寄って頂ける様に声かけ等をしている。現在も数名の方が訪問してくださっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者本人の意見を聞き、それに基づいてケアプランを作成し、担当者会議等で十分に話し合いをしている。	職員は日々の係わりの中で利用者とのコミュニケーションを図りながら、利用者の要望や意向の把握に努めている。 意思疎通が困難な場合は家族等の意見を聞いたり、サービス担当者会議で話し合い、利用者の立場で考え支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時にこれまでの生活歴を聞いて対処している。または、サマリーを送付してもらっている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人一人を個人ファイルとして管理し、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月ごとの見直し、認定更新時に本人、家族及び職員でサービス担当者会議を実施し、現状に即した介護計画を作成している。	カンファレンスで利用者や家族等の要望を全職員で話し合い介護計画を作成している。 介護計画は設定期間ごとに見直すほか、毎日の申し送り時や毎月の会議で検討し、状態の変化に応じて現状に即した介護計画に見直すとともに、家族等の同意を得ている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関との連携を含め、柔軟な対応を実施している。（具体例：2週間／1回の外来受診及び訪問受診、歯科訪問受診）		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、ボランティア、地域住民の方々及び警察、消防等の協力を得ながら支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者本人及び家族の希望を受け入れ、かかりつけ医に受診出来るよう支援している。	利用前からのかかりつけ医との関係を大切にし、利用者や家族等の意向を踏まえ状況に応じて適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当施設の母体が病院なので、利用者一人一人の健康状況等を相談しやすい環境にある。これらを利用者一人一人の健康管理及び医療支援につなげている。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>症状が落ち着いたときは、早期退院に向けて、医師及び看護師と話し合い相談している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>職場全体として、利用者終末期の方針を定めていない現状にある。今後は、その対応をマニュアル化し、利用者本人、家族及び職員等で共有していけるように努める。</p>	<p>重度化や終末期の事業所の対応方針を作成し、契約時に利用者や家族等に説明し同意を得ているが、現在対象者はいない。</p> <p>職員は看取りに関する事業所の方針を共有している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員一人一人が、救命法を取得し、ミーティング等実施時に初期対応の訓練を実施している。しかし、実践的な訓練機会が不足しており、やや不安がある職員も存在する。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、避難訓練を実施している。その訓練の際に地域の方々への協力を依頼し、協力体制の確保に努めている。</p>	<p>消防署指導のもと年2回の総合訓練と夜間を想定した訓練を年1回実施している。</p> <p>実施後は職員会議で課題について話し合い、議事録を作成している。</p> <p>災害時に地域の協力が得られる体制を構築している。</p>	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人一人の人格を尊重した対応を心がけているが、まだまだ、職員の対応にプライバシーへの配慮に欠ける面も散見される。今後は、言葉かけの対応に十分注意していく。	職員は利用者の尊厳を大切にし、日々の係わりの中でさりげないケアを心がけ、自己決定し易い言葉かけをしよう努めている。 職員同士気付いたことは注意し合い、プライバシーを損ねない対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	行事等の際に、利用者本人の意志や希望等を出来るだけ取り入れ、利用者本人が楽しめるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事等の時間は、きまっているものの、それ以外の時間においては、原則として各自自由に過ごしてもらえるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節感や清潔感のある身だしなみを勧めながら、利用者本人の好みや意向に応じた支援を実施している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員が同じテーブルに付いて同じ食事をとり、楽しい雰囲気の中で食事出来るように支援している。後片付け等は出来る事、やりたい事をやりたい時に手伝っていただくようにして、利用者の負担にならないように配慮している。	献立は運営法人の栄養士が作成し食材も届くが、職員が調理し盛り付けなどを工夫している。 ホームの祭事では特別食を提供している。 利用者は職員と一緒に自家菜園で採れた季節の野菜を調理したり、食事の準備や後片付けをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人一人の食事量及び水分量等には、細心の注意を払い、一日全体での必要量が確実に取れるよう、職員は、声かけ等の方法にて積極的に支援している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、利用者一人一人の状況に応じた口腔ケアを行えるように支援している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者本人の希望による排泄誘導又は、一人一人の排泄パターンを理解した上でのトイレ誘導をし、排泄の自立に向けて支援している。	職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、プライバシーに配慮した声かけや誘導をし、トイレで排泄ができるよう支援している。 便秘に伴う排泄の機能低下を防ぐため、食事や水分の摂取量に配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、排便チェックを実施し、利用者一人一人に応じた予防、対策等を講じられる様に支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	施設全体としては、週2回、午前中という制約があるものの、各棟別々の曜日のため、利用者本人のペースに合わせて自由に入浴出来るように支援している。	入浴は週2回午前中と決まっているが、3ユニットの入浴日を変えて何曜日でも入浴ができる体制となっているが、午後入浴や利用者の希望にそった入浴を支援するまでには至っていない。 入浴を好まない利用者は、タイミングを見計らって興味が出るような声かけをし、入浴が楽しめるよう支援している。	管理者と職員は利用者の立場にたって話し合い、午後入浴や利用者の希望にそった入浴ができるよう取り組むことを期待する。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者本人の希望により使い慣れた寝具を持ち込んで貰う等して、一人一人が心地よく休息や睡眠が取れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	飲み忘れや誤薬を防ぐために、細心の注意を払い利用者本人への注意喚起を十分にするとともに、利用者本人の状態、経過変化を記録し医療機関に適時適切に報告して治療、服薬調整に活かしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	職員各自の可能な範囲内において、声かけ等及び見守りをしながら、楽しみごとなどの支援を実施している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日1回程度を基準に散歩を実施している。また、家族の方に外出して頂き、適時外出が出来るよう支援している。	利用者の希望にそって入浴日以外の天気の良い日は近隣を散歩する支援に努めている。 車が無いため日頃遠出することはできないが、提携病院受診の際は車で季節の花見に立ち寄るなど、利用者が楽しめるよう支援している。 利用者の希望を把握し家族等と外出ができるよう支援している。	社会資源などを活用して利用者の希望にそった外出ができるよう、管理者と職員で検討することを期待する。
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者本人の自己管理は、困難であり、トラブル発生の危険性があるため、原則として手元に金銭を所持させないようにしているが、電話代程度の金銭を手元に置いている方もいる。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者本人の希望を十分理解したうえで、家族、友人等に電話することを支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビの音量調節、室温に細心の注意を払いホール等には、季節感のあるレイアウトを心がけ、少しでも利用者が快適に過ごせるように努力している。	全体が明るく清潔に保たれ、職員は季節の花を飾ったり装飾を工夫し五感への働きかけや生活感を取り入れ、居心地よく過ごしやすい空間となるよう配慮している。 広い中庭を大きな犬が自由に駆けまわる様子をどの部屋からも眺めることができ、利用者の安らぎとなっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者本人が過ごしたい場所で過ごせるように、イス等を設置する等、居場所が確保出来るような工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者本人の使い慣れた物を家族に提供して頂いたり、本人の希望にあわせて居室の家具のレイアウトを変更する等、利用者が快適に生活して頂けるように努めている。	職員は契約時に利用者の愛用品や思い出深い物品を持参してもらうよう説明し、利用者が居心地良く暮らせるよう支援している。 利用者は居室に家族等の写真や使い慣れた物品を置き、居心地よく安心して暮らせる工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内の廊下及びホール等はバリアフリーになっている。また、廊下等に歩行の妨げになる様な物品を置かない配慮を行い、利用者が安全で自立した生活が出来るように支援している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input checked="" type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム たまり

作成日 平成22年 2月 8日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	運営法人の理念のままではなく、管理者や全職員で話し合い独自の理念を作成し、実践する事を期待する。	事業所独自の理念ができ、その理念を共有し実践できる。	地域密着型のサービスの意義を踏まえた事業所独自の理念が作れるよう管理者と職員で話し合っていく。	半年
2	4	ホーム行事に来訪した家族等に依頼し運営推進会議に出席してもらっているが、事前に会議の予定を知らせたり、議事録が閲覧できることを家族に周知する取り組みを期待する。	数多くの利用者の家族の方が会議に参加できるようになり、議事録がいつでも閲覧できるようになる。	会議の予定を家族の方にお知らせしていく。議事録は、家族の方がいつでも閲覧可能な状態にしておく。	3ヶ月
3	45	管理者と職員は利用者の立場になって話し合い、午後の入浴や利用者の希望にそった入浴ができるように取りくむことを期待する。	利用者一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しんでいただけるようになる。	管理者と職員は利用者の立場になって話し合い、利用者の希望にそった入浴の支援をしていく。	3ヶ月
4	49	社会資源などを活用して利用者の希望にそった外出ができるよう、管理者と職員で検討することを期待する。	利用者の希望にそった外出ができるようになる。	管理者と職員で話し合い社会資源等を活用して利用者の希望にそった外出ができるよう支援していく。	半年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。